

社会資本総合整備計画

お ん ど 音戸 せ と し ゅ う へ ん の瀬戸 ち く ま ち 周辺地区 か ん き ょ う 街なみ環境 せ い び 整備 じ ギ ょ う 事業

ひ ろ し ま け ん 広島県 く れ し 呉市

令和7年12月

社会資本総合整備計画（総合交付金）

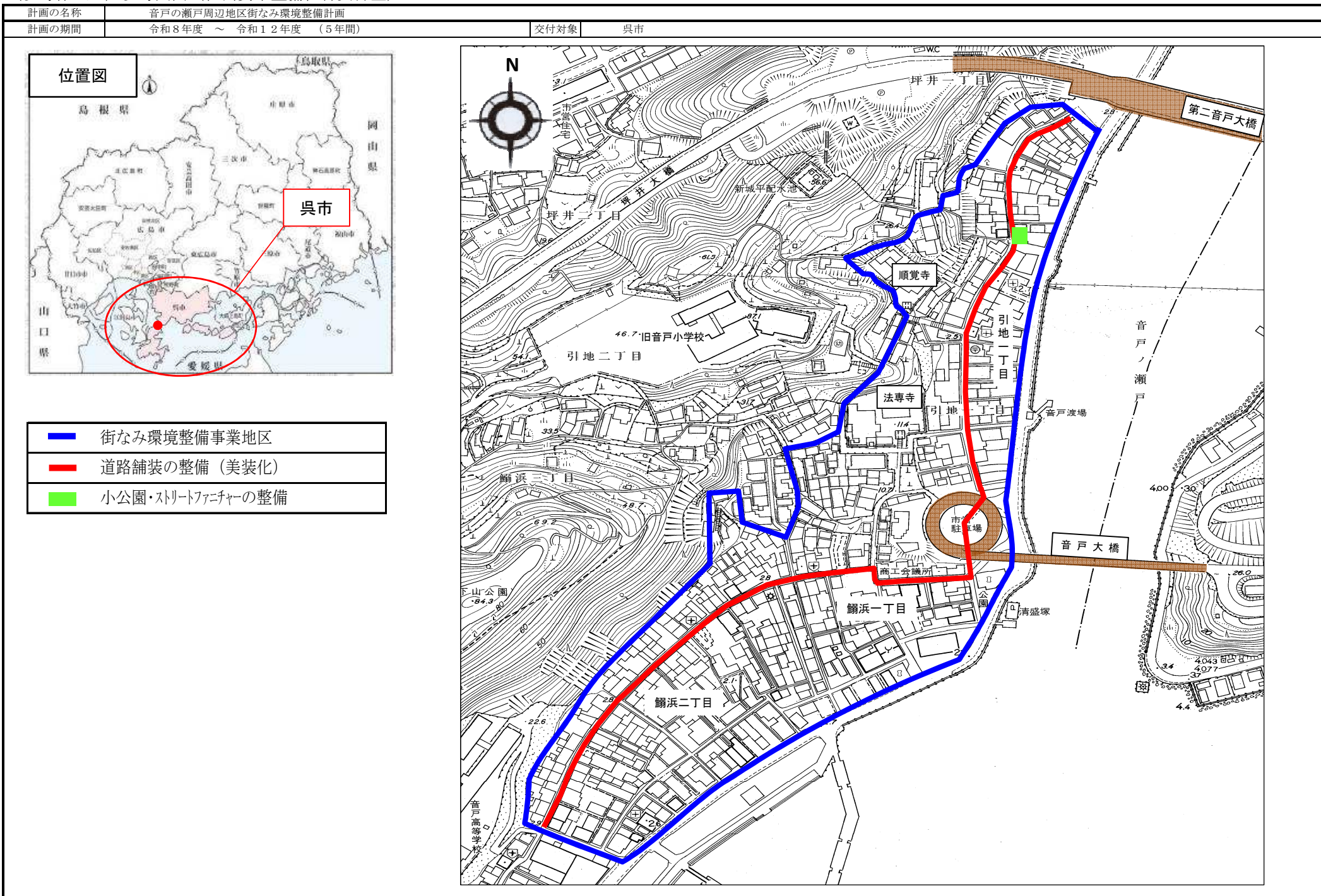
計画の名称	音戸の瀬戸周辺地域街なみ環境整備計画										重点配分対象の該当						
計画の期間	令和8年度～令和12年度（5年間）				交付対象		呉市										
計画の目標																	
昭和時代に音戸町のメインストリートとして発展した音戸町のなかみち（通称「音戸なかみち」）の路地や街なみの整備を通じて、昔なつかしさが残るまちなみの保全と新たな魅力の創出を図る。																	
計画の成果目標（定量的指標）																	
・音戸の瀬戸周辺地区居住者への意識調査における「街の魅力が向上した」とする割合を向上させる。（「そう思う」・「ややそう思う」と回答した市民の割合＝50%以上） ・音戸の瀬戸周辺地区居住者への意識調査における「地域への誇り・愛着を感じる」とする割合を向上させる。（「感じる」・「どちらかといえば感じる」と回答した市民の割合＝80%） 参考）呉市民調査(音戸地区)愛着84.4%＋誇り68.5%＝平均76.4% ・音戸なかみちの魅力を発信する（指標：音戸町まちづくり協議会のワークショップ開催・イベント活動（イロサクレ音戸），年1回以上＝計5回以上）																	
定量的指標の定義及び算定式										定量的指標の現況値及び目標値			備考				
					当初現況値 (R7当初)		中間目標値 (R10末)		最終目標値 (R12当初)								
住民意識の向上 達成率（％）＝街の魅力が向上したとする回答数÷アンケート回答数					0%		30%		50%								
住民意識の向上 達成率（％）＝「地域への誇り・愛着が向上した」とする回答合計数÷アンケート回答合計数					76%		78%		80%								
魅力の発信 達成率（％）＝開催・活動回数（1回/年）／目標回数（5回/5年）					0%		60%		100%								
全体事業費		合計 (A＋B＋C＋D)		110.0 百万円	A	110.0 百万円	B	0百万円	C	0百万円	D	0百万円	効果促進事業費の割合 C／（A＋B＋C＋D）	0			
交付対象事業																	
A 基幹事業																	
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									R8	R9	R10	R11	R12				
A16-001	住宅	一般	呉市	直接	呉市	音戸の瀬戸周辺地区まちなみ環境整備事業	道路舗装の整備（美装化）	呉市						47			
A16-002	住宅	一般	呉市	直接	呉市	音戸の瀬戸周辺地区まちなみ環境整備事業	小公園・ストリートファニチャーの整備	呉市						40			
A16-003	住宅	一般	呉市	直接	呉市	音戸の瀬戸周辺地区まちなみ環境整備事業	測量設計費	呉市						11			
A16-004	住宅	一般	呉市	間接	個人	音戸の瀬戸周辺地区まちなみ環境整備事業	建築物等修景化	呉市						12			
合計														110.0	1.8		
B 関連社会資本整備事業（該当なし）																	
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									R8	R9	R10	R11	R12				
合計														0			
C 効果促進事業																	
該当なし																	
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考		
									R8	R9	R10	R11	R12				
合計														0			
番号	一体的に実施することにより期待される効果													備考			
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業																	
該当なし																	
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考		
									R8	R9	R10	R11	R12				
合計																	
番号	一体的に実施することにより期待される効果													備考			

交付金の執行状況

(単位:百万円)

	R8	R9	R10	R11	R12
配分額 (a)					
計画別流用 増△減額 (b)					
交付額 (c=a+b)					
前年度からの繰越額 (d)					
支払済額 (e)					
翌年度繰越額 (f)					
うち未契約繰越額 (g)					
不用額 (h = c+d-e-f)					
未契約繰越＋不用率 (h = (g+h)/(c+d))					
未契約繰越＋不用率が10%を超えている 場合その理由					

(参考様式3) 参考図面 (社会資本整備総合交付金)



事前評価チェックシート

計画の名称： 音戸の瀬戸周辺地域街なみ環境整備計画

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性	
①都市再生基本方針との適合等 1) まちづくりの目標が都市再生基本方針と適合している。	○
I. 目標の妥当性	
①都市再生基本方針との適合等 2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性	
②地域の課題への対応 1) 地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性	
②地域の課題への対応 2) まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等 3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等 4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等 5) 地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	○
II. 計画の効果・効率性	
④事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
④事業の効果 2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性	
⑤地元の熱意 1) まちづくりに向けた機運がある。	○
III. 計画の実現可能性	
⑤地元の熱意 2) 住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	○
III. 計画の実現可能性	
⑤地元の熱意 3) 継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	○
III. 計画の実現可能性	
⑥円滑な事業執行の環境 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○

[illegible]